

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために・・・

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して
栃木県議会議員

さいとう淳一郎街頭演説レター

第 24 号

発行日 平成27年7月1日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

企業のバックアップ機能を誘致しよう

栃木県の昨年の製造業における工場立地面積は 93ha となり全国 2 位となりましたが、隣接する茨城県が全国 1 位、そして群馬県も全国 4 位につけており、北関東 3 県における企業誘致競争は激しさを増しております。

私は、本県がこうした競争に勝ち抜いていくためには、非製造業の誘致も視野に入れながら、茨城、群馬両県の先進的な取組を取り入れるとともに、本県独自の取組を積極果敢に展開していくことが必要と考えております。

私が昨年訪れた群馬県では、東日本大震災を契機として、首都直下型地震に備えたリスク対策や機能分散の必要性など、東京圏のバックアップ機能に関する議論が活発になったことから、「もしもに備え、群馬を選ぶ」をキャッチフレーズに、官民一体となった「群馬県バックアップ機能誘致協議会」を設立し、いざという時のバックアップ拠点となる製造拠点や物流拠点、データセンターなどの誘致を積極的に推進しております。

こうした一連の取組の中で、群馬県が強調している「災害が少ない」「アクセスが良い」「東京圏に近い」といったセールスポイントは、そのまま本県にも当てはまるのではないかと思います。

そこで本県においても、こうした企業のバックアップ拠点の誘致を推進し、東京圏のリスク管理や東京一極集中是正に貢献するとともに、本県経済の活性化や雇用の拡大にも役立てるべきです。